

2026年 9 月27日実施

令和 8 年度（第 75 回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報〉
第 1 級 試 験 問 題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は11ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. ユーザの利便性向上などのために、Webサイトの閲覧履歴やログイン情報などが、アクセスした端末のブラウザに一時的に保存されるしくみ。
2. インターネット上で安全に情報をやり取りするために、通信の相手が本人であることを証明する電子証明書の発行や、電子証明書の秘密鍵が流出した際などに失効手続きを行う第三者機関。
3. クライアントサーバシステムにおいて、クライアント側にはデータの入力などの必要最低限の機能だけを持たせ、サーバ側にクライアント側が使用する資源を集中させて管理する形態。
4. データベースにおいて、複数のトランザクションが排他制御をおこない、互いにロックの解除待ちになり、処理が進行しない状態。
5. システムを評価する指標の一つで、システムが継続して稼働できる能力を示したもの。おもに稼働率が用いられる。

解答群

ア. デジタル署名	イ. 完全性	ウ. 可用性
エ. VPN	オ. Cookie	カ. DNS
キ. 認証局	ク. MIME	ケ. デッドロック
コ. 共有ロック	サ. 信頼性	シ. シンククライアント

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. システムログ 2. フェールセーフ 3. DHCP
4. POP 5. ソーシャルエンジニアリング

<B群>

- ア. ネットワーク通信などにおいて、Webサーバへ接続した端末の情報や接続時間、データ量など、ネットワークの接続状況を記録したもの。
- イ. 音声データをパケットに変換してリアルタイムに送受信し、音声通話を実現する技術。
- ウ. 自分宛ての電子メールを保管しているサーバにアクセスし、メールを受信するためのプロトコル。
- エ. コンピュータなどがネットワークに接続する際、通信可能なIPアドレスを自動的に割り振るプロトコル。
- オ. 攻撃者が、脆弱性のあるWebサイトなどに悪意のあるプログラムを組み込み、別のWebサイトに誘導して個人情報などを搾取する攻撃。
- カ. コンピュータシステムにアクセスするために必要な情報を、専門的な情報通信技術を使用せず、人間の心理的な隙や行動のミスにつけ込んで不正に入手する手法の総称。
- キ. 人間はミスをするものといった前提にたって、間違った方法で操作しても、障害が起こらないようにする設計思想。
- ク. コンピュータの起動や終了、発生したエラー情報など、コンピュータシステムの動作状況を、時系列に記録したもの。
- ケ. 電子メールを送信する際、受信者のメールサーバにメールを転送するためのプロトコル。
- コ. システムに異常が発生した際、被害や障害を最小限におさえるため、システムを停止させたり、異常箇所を切り離したりして、安全を優先する設計思想。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、5. については数値を答えなさい。

1. 一つのデータを2台以上のハードディスクに分散させて書き込みを行うことで、データの読み書きの速度を上げるための技術。

ア. ミラーリング

イ. ストライピング

ウ. RASIS

2. 高品質の部品を使用したり、故障が生じにくい設計や構造を採用したりするなど、障害の発生を極力抑えようとする設計思想。

ア. フォールトトレラント

イ. フォールトアボイダンス

ウ. フェールソフト

3. ネットワーク通信において、経路選択機能を持ち、異なるネットワーク間でデータを中継する機器。

ア. NAT

イ. ハブ

ウ. ルータ

4. 解像度600dpiのスキャナを使用して、横12.5cm、縦17.5cmのカラー写真を、24ビットカラーで取り込んだ際の記憶容量は何MBか。ただし、1インチ=2.5cm、1MB=10⁶Bとする。

ア. 37.8MB

イ. 236.2MB

ウ. 302.4MB

5. 100Mbpsの通信回線を使用して、3.6GBのデータを転送するのにかかった時間が6分であった。この通信回線の伝送効率は何%か求めなさい。なお、その他の外部要因は考えないものとする。ただし、1GB=10⁹Bとする。

【4】 次の各問いに答えなさい。

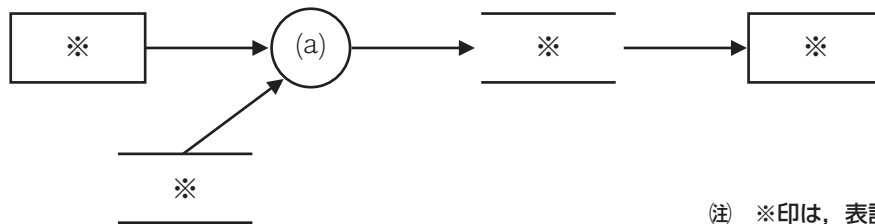
問1. 膨大な情報を整理するために、情報収集、カード化、グループ化、図解化、文章化の手順にしたがってアイデアを可視化する手法として適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア. KJ法

イ. ブレンストーミング

ウ. 要件定義

問2. 次の図は、DFDの例である。図中の(a)の記号の名称として適切なものを選び、記号で答えなさい。



(注) ※印は、表記を省略している。

ア. プロセス

イ. データストア

ウ. データフロー

問3. 次のようなネットワーク設定がされているコンピュータA～Eについて、コンピュータAとネットワークアドレスが同一となるコンピュータとして適切なものを選び、記号で答えなさい。なお、コンピュータA～Eのサブネットマスクには、255.255.248.0 が設定されている。

コンピュータAのIPアドレス設定：192.168.144.52

コンピュータ名	IPアドレス
コンピュータB	192.168.122.136
コンピュータC	192.168.150.83
コンピュータD	192.168.162.225
コンピュータE	192.168.237.140

ア. コンピュータB

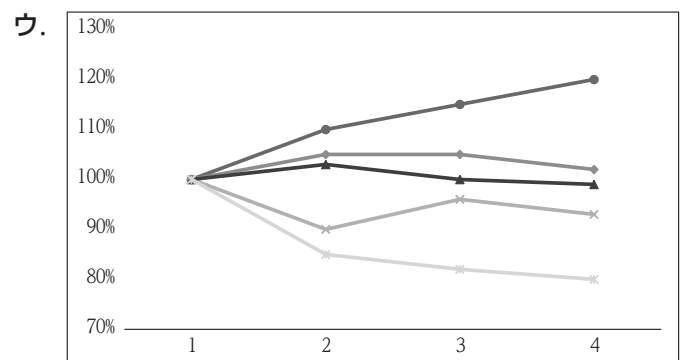
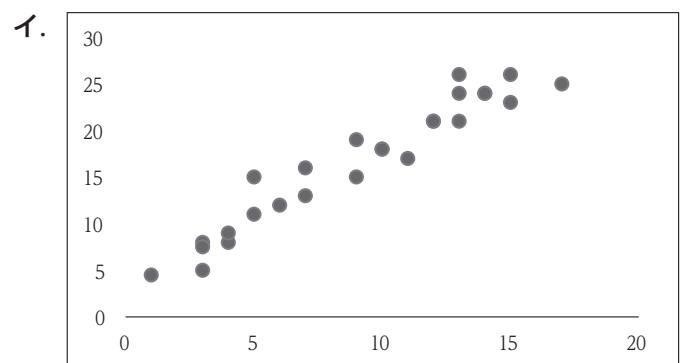
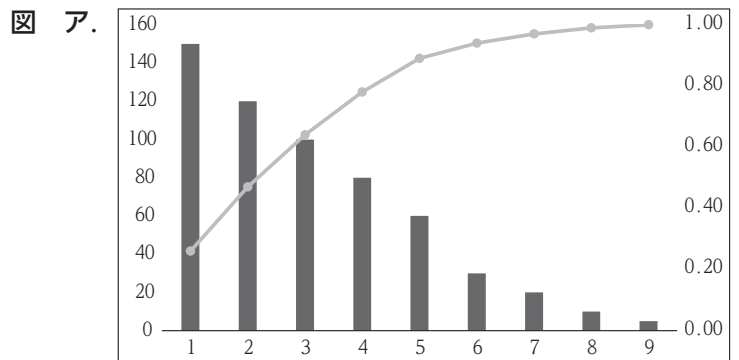
イ. コンピュータC

ウ. コンピュータD

エ. コンピュータE

問4. 縦軸と横軸にそれぞれ異なるデータを取り、二つのデータ間にどのような相関関係があるかを分析するための図の名称と、図として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- 名称 ア. ファンチャート
イ. パレート図
ウ. 散布図



問5. コアコンピタンスを説明している次の文章のうち適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 経営の最適化や業務の効率化を目指す手法のこと。企業が持つ人材、資金、設備、情報などさまざまな経営資源を一元的に管理することにより、非効率な部分を排除したり、互いに関連する業務を連携したりする。
- イ. 顧客との良好な関係を築くための手法のこと。企業が持つ顧客の属性や訪問履歴などを記録、管理し、顧客へのきめ細かい対応を行う体制を整えることで、顧客満足度の向上につなげる。
- ウ. 企業が持つ競合他社が模倣できない、持続的な競争優位性を生み出す強みのこと。技術や組織の能力などの経営資源が、顧客に対して価値や利益を生むことや複数の製品や市場に適応、展開できることが要件として挙げられる。

- 【5】 ある和装レンタル店では、顧客からの注文を次のようなリレーショナル型データベースを利用し、管理している。次の各問いに答えなさい。

処理の流れ

- ① 新規の顧客に対しては登録の手続きを行い、顧客表にデータを入力する。
- ② 注文表は、一回の注文につき1レコードが作成される。なお、注文番号は連番が付与される。
- ③ オプションは、一回の注文に対し、複数選択することができる。なお、オプションを選択しない場合、S00を入力する。

顧客表

顧客コード	名前	メールアドレス	電話番号
M001	菅 ○○	line.XXXX@XXXXX.co.jp	XX-XXXX-XXXX
M002	水谷 ○	water.XXXX@XXXX.com	XXX-XXXX-XXXX
M003	小口 ○○	oguchi.XXX@XX.ne.jp	XXX-XXXX-XXXX
}	}	}	}
M076	中林 ○○	center.XXXX@XXXXXXXXX.com	XXX-XXXX-XXXX
M077	井沢 ○○	isawa@XXXXXXXX.co.jp	XXX-XXXX-XXXX
M078	真鍋 ○○	nabechan.XX@XX.ne.jp	XX-XXXX-XXXX
}	}	}	}
M123	大浦 ○○	oura.XXX@XXXXXX.ne.jp	XXX-XXXX-XXXX
M124	北田 ○○	kitada.XX@XXXXXX.ne.jp	XX-XXXX-XXXX
M125	高井 ○○○	high.XXXXX@XXXX.com	XXX-XXXX-XXXX
}	}	}	}
M620	桜井 ○○	saku.XXX@XXXX.ne.jp	XXX-XXXX-XXXX

商品表

商品コード	商品名	貸出料金
WC001	七五三A	28000
WC002	七五三B	25000
WC003	お子さん産着A	20000
WC004	お子さん産着B	18000
WF001	フォーマルA	68000
WF002	フォーマルB	59000
WS001	成人式A	100000
WS002	成人式B	80000
WT001	留袖A	55000
WT002	留袖B	47000

注文表

注文番号	注文日	顧客コード	商品コード	貸出日
}	}	}	}	}
101001	2013/10/12	M101	WS001	2014/01/13
101002	2013/10/12	M116	WC002	2013/11/15
101003	2013/10/12	M088	WC003	2013/11/15
}	}	}	}	}
104400	2025/11/11	M051	WF002	2026/01/20
104401	2025/11/12	M123	WS001	2026/01/12
104402	2025/11/12	M078	WS002	2026/01/12
}	}	}	}	}

オプション表

オプションコード	オプション名	オプション料金
S00	利用なし	0
S01	小物3点セット	6000
S02	小物5点セット	7500
S03	ヘアセット	12000
S04	着付け	8000
S05	着付け・ヘアセット	18000
S06	和装用コート	8000
S07	写真撮影（データ）	25000
S08	写真撮影（アルバム）	40000

オプション選択表

注文番号	オプションコード
}	}
101100	S01
101101	S02
101101	S07
101102	S00
}	}
104400	S02
104401	S02
104401	S05
104402	S04
}	}

問1. 注文表の主キーと外部キーの組み合わせとして適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、主キーは、必要最低限かつ十分な条件を満たしていること。

(主キー)	(外部キー)
ア. 注文番号, 貸出日	顧客コード, 商品コード
イ. 注文番号	顧客コード, 商品コード
ウ. 注文番号, 注文日	顧客コード, 商品コード

問2. 次のSQL文のうち、各表のデータを照らし合わせ、参照整合性に反するため実行できないものを選び、記号で答えなさい。

- ア. DELETE FROM 顧客表 WHERE 顧客コード = 'M123'
 イ. INSERT INTO 顧客表 VALUES ('M621', '緒方 ○○', 'oga@XXXXX.co.jp', 'XX-XXXX-XXXX')
 ウ. UPDATE 顧客表 SET 電話番号 = 'XXXX-XX-XXXX' WHERE 顧客コード = 'M123'

問3. 2025年4月1日から2026年3月31日に注文した顧客コードと名前を、重複なく抽出する。次のSQL文の空欄をうめなさい。

```
SELECT  A.顧客コード, 名前
FROM 顧客表 A, 注文表 B
WHERE A.顧客コード = B.顧客コード
      AND 注文日 BETWEEN '2025/04/01' AND '2026/03/31'
```

顧客コード	名前
M003	小口 ○○
M024	田畑 ○○
M027	大友 ○
}	}

問4. 注文番号 104401 のオプション料金の合計をオプション料金合計として抽出する。次のSQL文の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT  AS オプション料金合計
FROM オプション表 A, オプション選択表 B
WHERE A.オプションコード = B.オプションコード
      AND 注文番号 = 104401
```

オプション料金合計
25500

- ア. オプション料金
 イ. COUNT(*)
 ウ. SUM(オプション料金)

問5. 過去3年分の成人の日の貸出件数を年ごとに抽出する。次のSQL文の空欄(a), (b)にあてはまる適切な組み合わせを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 貸出日, COUNT(*) AS 成人の日の貸出件数
FROM 注文表
WHERE 貸出日  (a) ('2024/01/08', '2025/01/13', '2026/01/12')
       (b) 貸出日
```

- ア. (a) AND (b) GROUP BY
 イ. (a) OR (b) ORDER BY
 ウ. (a) IN (b) GROUP BY
 エ. (a) OR (b) GROUP BY

貸出日	成人の日の貸出件数
2024/01/08	21
2025/01/13	32
2026/01/12	41

【6】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、あるコインランドリー店における売上金額集計表と予測表である。「予測売上金額」は、「降水量(mm)」,「売上金額」の記録と「予測降水量(mm)」をもとに表示する。F4に設定する次の式の空欄をうめなさい。ただし、「降水量(mm)」と「売上金額」には相関関係が認められるものとする。

=(F3,C4:C123,B4:B123)

	A	B	C	D	E	F
1						
2	売上金額集計表			予測表		
3	年月	降水量(mm)	売上金額	予測降水量(mm)		150.0
4	2016/1	85.0	89,100	予測売上金額		163,014
5	2016/2	57.0	82,900			
6	2016/3	103.0	120,600			
7	2016/4	120.0	140,200			
8	}	}	}			
117	2025/6	100.0	110,700			
118	2025/7	74.5	80,000			
119	2025/8	68.5	70,300			
120	2025/9	203.5	190,800			
121	2025/10	106.5	125,500			
122	2025/11	17.0	23,000			
123	2025/12	36.5	37,400			

問2. 次の表は、あるパソコン教室のノートパソコン配置表である。机は、縦6台×横5台で30台ずつ3教室分ある。ノートパソコンは、教室の前側の左から横に一つの机に1台ずつ「パソコン番号」順に置いている。D4に設定する次の式の空欄をうめなさい。ただし、空欄にはすべて同じものが入り、この式をD93までコピーする。

=IF(MOD(A4-1000,,MOD(A4-1000,))

	A	B	C	D
1				
2	ノートパソコン配置表			
3	パソコン番号	教室名	縦(前から)	横(左から)
4	1001	講義室A	1	1
5	1002	講義室A	1	2
6	1003	講義室A	1	3
7	1004	講義室A	1	4
8	1005	講義室A	1	5
9	1006	講義室A	2	1
10	}	}	}	}
91	1088	講義室C	6	3
92	1089	講義室C	6	4
93	1090	講義室C	6	5

問3. 次の表は、ある陸上部の一週間の走行距離記録表と平均走行距離である。平均走行距離は走行距離記録表の「走行距離」を「学年」,「性別」ごとに求め、小数第1位未満を四捨五入して表示する。G4に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をI5までコピーする。

=ROUND(AVERAGEIFS(,1)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2	走行距離記録表				平均走行距離				
3	学年	名前	性別	走行距離	単位:km	性別\学年	1	2	3
4	1	青木	〇〇	男	32	男	36.3	43.0	36.2
5	1	江藤	〇〇	女	23	女	23.5	26.3	29.6
6	1	太田	〇〇	女	20				
7	}	}	}	}	}				
12	2	江藤	〇〇	女	30				
13	2	熊井	〇〇	男	42				
14	2	小泉	〇〇	男	45				
15	}	}	}	}	}				
28	3	田崎	〇〇	男	35				
29	3	本田	〇〇	男	32				
30	3	松井	〇〇	女	33				

ア. \$D\$4:\$D\$30,\$A\$4:\$A\$30,\$G3,\$C\$4:\$C\$30,F\$4

イ. \$D\$4:\$D\$30,\$A\$4:\$A\$30,G\$3,\$C\$4:\$C\$30,\$F4

ウ. \$D\$4:\$D\$30,G\$3,\$A\$4:\$A\$30,\$F4,\$C\$4:\$C\$30

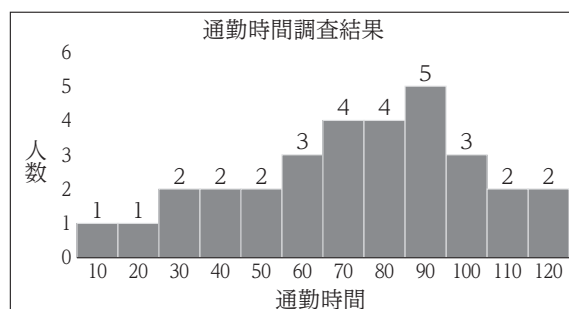
問4. 次の表は、ある会社における通勤時間調査表である。この表をもとにグラフを作成した。E5に次の式が設定されているとき、表示される適切なものを選び、記号で答えなさい。なお、通勤時間は10分単位で回答されており、従業員の人数は31人である。

=MEDIAN(B4:B34)

- ア. 65
イ. 70
ウ. 80

	A	B	C	D	E
1					
2	通勤時間調査表		単位:分		
3	従業員番号	通勤時間	平均値	※	
4	101	60	最頻値	※	
5	102	120	中央値	※	
6	103	70			
7	104	80			
8	105	110			
9	106	80			
10	107	60			
11	108	120			
12	109	70			
13	110	80			
14	111	120			
15	112	60			
16	113	70			
17	114	80			
18	115	120			
19	116	70			
20	117	80			
21	118	120			
22	119	60			
23	120	70			
24	121	80			
25	122	120			
26	123	60			
27	124	70			
28	125	80			
29	126	120			
30	127	60			
31	128	70			
32	129	20			
33	130	90			
34	131	100			

(注) ※印は、値の表記を省略している。



問5. 次の表は、ある図書館の一日の利用状況一覧表である。H7には次の式が設定されている。この式について、適切なことを述べているものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2	利用状況一覧表					集計条件			
3	利用者番号	年齢	貸出冊数	返却冊数	滞在時間(分)	年齢貸出冊数滞在時間(分)			
4	1009	36	5	4	42	<20>=120			
5	1012	66	0	5	40	<20>=5			
6	1081	52	5	1	3				
7	1085	41	0	2	117				
8	1097	62	3	0	2				
9	1107	27	1	0	36				
10	1118	9	5	1	105				
11	}	}	}	}	}				
107	2508	14	1	2	126				
108	2512	20	5	1	35				
109	2514	66	2	4	22				
110	}	}	}	}	}				
328	5992	30	0	5	66				
329	5996	25	5	2	30				

- 【7】 次の表は、ある携帯電話会社の代理店の月額料金計算書である。作成条件および作成手順にしたがって、各問いに答えなさい。

シート名「月額料金計算書」

A	B	C	D	E	F	G
1						
2	月額料金計算書					
3						
4	受付日 2026/8/1					
5	1. 契約内容					
6						
7	契 約 予 定 日	入力欄 2026/8/31	確認欄			
8	契 約 コ ー ド	CT2	OK			
9	契 約 携 帯 番 号	090XXXXXXX4	OK			
10	家 族 携 帯 番 号		OK			
11						
12	契約ID A1001		契約日 2021/4/1	名前 田中 ○○		
13						
14	プ ラ ン コ ー ド	P1	プラン名 ライト			
15						
16	オプションコード	OP1	オプション名 留守番電話	オプション料金 300		
17		OP2	かけ放題	900		
18						
19						
20						
21	2. 請求金額計算					
22	基 本 料 金	1,600				
23	オプション料金計	1,200				
24	家 族 割 引	0				
25	オプション割引	0				
26	月 額 料 金	2,800				

シート名「契約表」

	A	B	C	D
1	契約表			
2	契約ID	契約日	携帯番号	名前
3	A1001	2021/4/1	090XXXXXXX4	田中 ○○
4	}	}	}	}
5275	A5862	2023/4/1	090XXXXXXX4	中谷 ○○
5276	A5862	2023/8/16	080XXXXXXX6	中谷 △△
5277	A5862	2023/12/1	090XXXXXXX9	中谷 ××
5278	A5864	2023/4/1	090XXXXXXX1	高瀬 ○○
5279	A5865	2023/4/1	090XXXXXXX7	鍋島 ○○
5280	A5866	2023/4/1	090XXXXXXX8	森 ○○
5281	A5866	2025/10/3	080XXXXXXX5	森 ××
5282	A5867	2023/4/1	090XXXXXXX7	杉山 ○○
5283	A5868	2023/4/1	090XXXXXXX8	片岡 ○○
5284	A5869	2023/4/1	090XXXXXXX9	高木 ○○
5285	A5870	2023/4/1	090XXXXXXX3	松原 ○○
5286	A5871	2023/4/1	090XXXXXXX4	木内 ○○
5287	A5872	2023/4/2	090XXXXXXX7	佐々木 ○○
5288	A5872	2023/9/6	070XXXXXXX1	佐々木 △△
5289	A5872	2023/11/3	080XXXXXXX2	佐々木 □□
5290	A5873	2023/4/2	080XXXXXXX8	菊地 ○○
5291	A5876	2023/4/2	070XXXXXXX3	酒井 ○○
}	}	}	}	}
9999				

シート名「プラン表」

	A	B	C
1			
2	ライト		
3	期間	基本料金	
4	1～24	2,000	
5	25～36	1,900	
6	37～48	1,800	
7	49～60	1,700	
8	61～	1,600	
9			
10	スタンダード		
11	期間	基本料金	
12	1～24	4,000	
13	25～36	3,800	
14	37～48	3,600	
15	49～60	3,400	
16	61～	3,200	
17			
18	プレミアム		
19	期間	基本料金	
20	1～24	6,000	
21	25～36	5,700	
22	37～48	5,400	
23	49～60	5,100	
24	61～	4,800	

シート名「オプション表」

	A	B	C
1	オプション表		
2	オプションコード	オプション名	オプション料金
3	OP1	留守番電話	300
4	OP2	かけ放題	900
5	OP3	修理保証	300
6	OP4	迷惑メール防止	200
7	OP5	外部ストレージ	500
8			

作成条件

1. シート名「月額料金計算書」の入力欄に適切なデータを順に入力すると、「月額料金」を求めることができる。なお、入力欄は、太罫線で囲われており、確認欄は、関数や数式が設定されたセルである。
2. 入力欄に入力された値が適切でない場合や、コードが参照する表にない場合、確認欄に NG を表示し、入力欄が未入力の場合、確認欄に何も表示しない。確認欄が空欄または NG の場合、それ以降の項目は、表示しない。ただし、「契約携帯番号」、「家族携帯番号」、「オプションコード」は空欄を認める。
3. 「契約コード」は、次のように構成されている。回線は、CT を 契約回線、FM を 家族回線 とする。契約内容は、1 を 新規契約、2 を 機種変更、3 を 追加契約 とする。ただし、CT3 と FM1 は存在しないものとする。

例 CT2 → CT 2
回線 契約内容

4. 「契約携帯番号」および「家族携帯番号」は、11桁の値を文字列で入力する。ただし、「契約コード」が CT1 の場合、「契約携帯番号」および「家族携帯番号」は空欄とする。また、「家族携帯番号」は、「契約コード」が FM2 の場合に入力し、それ以外の場合は空欄とする。
5. 「契約ID」は、「契約携帯番号」に対して割り当てる。「家族携帯番号」の「契約ID」は、対応する「契約携帯番号」と同一とする。
6. 「プランコード」は、P1 を ライト、P2 を スタンダード、P3 を プレミアム とする。
7. シート名「プラン表」は「期間」により、「基本料金」が設定されている。「契約コード」が CT2 または FM2 の場合、「期間」は、「契約予定日」から前回の「契約日」を引いて求める。前回の「契約日」は、「契約携帯番号」または「家族携帯番号」をもとに、シート名「契約表」を参照して求める。「期間」は、月単位で求め、該当月に1日でも利用した場合、1 とする。なお、「契約コード」が CT2 以外または FM2 以外の「期間」は、1 とする。

例	契約日	契約予定日	期間
	2024/ 1/ 1	2024/12/31	12
	2024/ 1/ 1	2024/12/ 1	12
	2024/ 1/31	2024/12/ 1	12

8. 「家族割引」は、シート名「契約表」を参照し、「契約ID」が同一かつ、「名前」が異なるデータがある場合、「基本料金」から10%を割り引く。
9. 「オプション割引」は、「オプションコード」を三つ以上入力した場合、「オプション料金」の合計から10%を割り引く。
10. シート名「契約表」は、データ更新後に「契約ID」と「契約日」の昇順に並べ替えている。また、行数は最大9,999行とする。

作成手順

1. シート名「月額料金計算書」は、次のように作成されている。
 - (1) F4は、本日の日付を自動表示するための関数が入力されている。
 - (2) C7は、「契約予定日」を入力する。E7は、「契約予定日」が「受付日」以降の場合、OK を表示し、それ以外の場合、NG を表示する。
 - (3) C8は、「契約コード」を入力する。E8は、作成条件3を満たす場合、OK を表示し、それ以外の場合、NG を表示する。
 - (4) C9とC10は、作成条件4にしたがって「契約携帯番号」および「家族携帯番号」を入力する。E9は、C9が0～9からなる11桁の値の場合、OK を表示し、それ以外の場合、NG を表示する。また、E10も同様に表示する。
 - (5) E12は、C9をもとに、シート名「契約表」を参照して「契約ID」を表示する。ただし、C8が CT1 の場合、契約なし を表示する。
 - (6) F12は、C8が CT2 の場合はC9を、C8が FM2 の場合はC10をもとに、シート名「契約表」を参照して「契約日」を表示する。ただし、C8が CT1、FM3 の場合、契約なし を表示する。また、G12も同様に「名前」を表示する。
 - (7) C14は、「プランコード」を入力する。E14はC14をもとに、作成条件6にしたがって、表示する。
 - (8) C16～C20は、「オプションコード」を入力する。E16～E20は、C16～C20をもとに、シート名「オプション表」を参照し、「オプション名」を表示する。なお、オプションコードが重複して入力された場合、NG を表示する。また、F16～F20も同様に「オプション料金」を表示する。
 - (9) C22は、C14をもとにシート名「プラン表」を参照し、作成条件7にしたがって「基本料金」を表示する。
 - (10) C23は、F16～F20の合計を求めた値を表示する。
 - (11) C24は、E12～G12をもとに作成条件8にしたがって求めた値を表示する。
 - (12) C25は、F16～F20をもとに作成条件9にしたがって求めた値を表示する。
 - (13) C26は、C22、C23の合計から、C24、C25を引いて求めた値を表示する。

「問題を読みやすくするために、
このページは空白にしています。」

問1. シート名「月額料金計算書」のE9に設定する式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

=IF(AND(C8="CT1",C9=""),"OK",IF(C9="", "NG",
IF(AND(IFERROR([空欄]),FALSE),LEN(C9)=11),"OK","NG")))

ア. COLUMN(C9)

イ. VALUE(C9)

ウ. TEXT(C9,"000-0000-0000")

問2. シート名「月額料金計算書」のE12に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

=IF(OR(E8="",E8="NG",E9="NG",E10="NG"), "",
IF(C8<>"CT1",IFERROR([空欄]),"NG"),"契約なし"))

ア. INDEX(契約表!A4:A9999,MATCH(C9,契約表!C4:C9999,0),1)

イ. OFFSET(契約表!A3,MATCH(C9,契約表!C4:C9999,0),1)

ウ. VLOOKUP(C9,契約表!A4:D9999,1,FALSE)

問3. シート名「月額料金計算書」のC22に設定する式の空欄にあてはまる適切な数値を答えなさい。

=INDEX((プラン表!A4:C8,プラン表!A12:C16,プラン表!A20:C24),
IF(OR(C8="CT2",C8="FM2"),MATCH((YEAR(C7)-YEAR(F12))*12+MONTH(C7)-MONTH(F12)+1,プラン表!A4:A8,1),[空欄]),
3,VALUE(RIGHT(C14,1)))

問4. シート名「月額料金計算書」のC24に設定する式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

=IF(C22="", "", IF(COUNTIFS(契約表!A4:A9999,E12,契約表!D4:D9999,"<>"&G12)[空欄],0.1,0)*C22)

ア. <1

イ. <=1

ウ. >1

エ. >=1

問5. シート名「月額料金計算書」が次のように表示されているとき、C26に表示される適切なものを選び記号で答えなさい。

ア. 4,770

イ. 4,950

ウ. 5,130

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		月額料金計算書					
3							
4						受付日	2026/7/27
5	1. 契約内容						
6			入力欄		確認欄		
7	契約予定日		2026/9/1		OK		
8	契約コード		FM2		OK		
9	契約携帯番号		090XXXXXX7		OK		
10	家族携帯番号		070XXXXXX1		OK		
11					契約ID	契約日	名前
12					A5872	2023/9/6	佐々木 △△
13					プラン名		
14	プランコード		P2		※		
15					オプション名	オプション料金	
16	オプションコード		OP2		※	※	
17			OP3		※	※	
18			OP5		※	※	
19							
20							
21	2. 請求金額計算						
22	基本料金		※				
23	オプション料金計		※				
24	家族割引		※				
25	オプション割引		※				
26	月額料金		※				

(注) ※印は、値の表記を省略している。

(令和 8 年 9 月 27 日 実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和 8 年度 (第 75 回) 情報処理検定試験ビジネス情報 第 1 級

解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5
					%

小計	
----	--

【4】	問 1	問 2	問 3	問 4		問 5
				名称	図	

【5】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

小計	
----	--

【6】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

【7】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

小計	
----	--

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計

(令和 8 年 9 月 27 日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和 8 年度 (第 75 回) 情報処理検定試験ビジネス情報 第 1 級

審 査 基 準

【1】	1	2	3	4	5
	オ	キ	シ	ケ	ウ

【2】	1	2	3	4	5
	ク	コ	エ	ウ	カ

【3】	1	2	3	4	5
	イ	イ	ウ	ア	80 %

各 2 点
15 問小
計

30

【4】	問 1	問 2	問 3	問 4		問 5
				名称	図	
	ア	ア	イ	ウ	イ	ウ

【5】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
	イ	ア	DISTINCT	ウ	ウ

各 3 点
10 問小
計

30

【6】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
	FORECAST	5	イ	ウ	ア

【7】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
	イ	ア	1	エ	ア

- ※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。
 ※ 記述問題の大文字、小文字は問わない。

各 4 点
10 問小
計

40

得 点 合 計

100